



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'98 1月号



## 新年あけましておめでとうございます。

今年も市民の皆様には、良い年でありますよう、お祈り申し上げます。

また、昨年1年間博物館に多大なご支援をいただき、まことにありがとうございました。昨年は春の夜空に現れたヘール・ボップ彗星に始まり、ご年輩の方たちでにぎわった夏の「農家の四季」展、たくさんの市民の方からの応募をいただいた秋の公募写真展、そしてこの冬の特別展「平塚の星空写真展」は2月1日まで好評開催中であります。

博物館22年目の新春を迎えるにあたり、ここに今年最大の事業をご紹介します。博物館二階展示室の全面展示替え、ならびに展示物の耐震補強工事がいよいよ始まります。昨年春より着々と準備を進めてまいりましたが、この2月より三カ月の時間をちょうだいし、新しい展示のための作業を始めさせていただきます。市民の皆様にはなにかとご不便をおかけいたしますが、ご理解をいただき安全第一で進めさせていただきますと存じます。きたる5月1日には新装なった博物館をご覧いただけることとなります。

今後とも市民の皆様に関心に答えられるよう館職員一同努力してまいりますので、暖かいご声援とご協力をお願いいたします。

館長 岡本 稔

## 1月の寄贈品コーナー

# 寄贈された植物の写真と文献

期間：1月6日～2月1日

### 内田藤吉氏の寄贈資料

昨年不慮の事故で亡くなられた内田藤吉氏は、長年わたって平塚市花水台に住まれ、小学校で教鞭をとるかたわら植物の研究を続けておられました。80歳を越す年となられても、元気に野山を歩かれ、博物館にも写真や標本を持ってよく訪ねて来られました。

内田先生が特に力を入れて調べておられた植物にカンアオイの仲間があり、西丹沢にズソウカンアオイが分布していることを明らかにされたことは特に大きな功績でした。箱根のランヨウアオイ、大磯丘陵のオトメアオイなど、現地をくまなく歩かれて綿密な分布地図を作られるのが内田先生がいつもとられる方法でした。

先生が亡くなられてから、残された膨大な写真を博物館に寄贈して頂けるというお話がありました。先生は生前から、もしものことがあったら、写真と本は博物館で活用してもらえと奥様に話されていたそうで、後進を思いやる先生の気持ちは実にありがたいものでした。

ご遺族から寄贈を頂いたスライドは、ほとんどが植物の生態写真で、箱根、丹沢をはじめとする県内各地の植物が600種類以上含まれています。先生が好んで登られていた、岩手県の早池峰山や、南アルプスの北岳の高山植物の写真も多く入っています。先生の写真の特徴の一つは、同じ種類の同じ株でも何枚も撮影されていることで、ピントもよく、写真資料として大変貴重なものです。博物館の今回の展示替えでも、情報コーナーで早速先生の写真が役立てられました。

なお、膨大な数の写真の整理には宮崎直緒子さん、馬鳥敏子さんがボランティアとして協力してくださいました。

### 小原敬氏の寄贈資料

昨年10月号の本誌でも紹介したように、藤沢市在住の小原敬氏から、多数の植物学の文献が博物館に寄贈されました。

小原先生は、平和学園で仕事をされるかたわら、植物、貝、鉱物などさまざまな自然物に興味を持たれ、特に植物の研究史に関しては、専門的な研究をされました。

1988年に神奈川県立博物館から刊行された「神奈川県植物誌1988」には「神奈川県植物研究史1」を執筆され、本県の植物がいつ頃からどんな研究者によって調べられてきたかが克明に記述されています。先生は博覧強記と呼ぶのにふさわしい方で、数多くの文献の隅々まで記憶され、その該博な知識に基づいて、研究史を執筆されました。

今回、寄贈して頂くことになった文献は、そうした研究史解明の基礎になったもので、既に紹介したように、ヨーロッパ植物誌、ロシア植物誌、シーボルト(先生の指摘によるとドイツ人であるシーボルトの名前は正しくはジーボルトとすべきだそうです)など江戸時代に日本を訪れた学者の著作など多数に上っています。



写真 エビラシダ (撮影/内田藤吉氏)

# 第4次展示替えについて

博物館では、おおむね5年に一回の展示替えを行ってききましたが、1998年の2月から4月まで、第4回目の展示替え工事を行うことになりました。今回は2階を中心に、下に紹介するような内容のお色直しをすることになりました。5月の新装オープンをお楽しみに。

## 2階展示室が変わります

2階の展示室が一新されます。あたらしく18のコーナーが作られ、海、大地、村、都市というサブテーマに沿って、相模川流域の自然と文化についての最新の情報が紹介されます。予定されているコーナーは下にあげた通りです。

海

相模湾に生きる  
浜で拾う海の自然  
川から海へ  
大地の生い立ち  
深海のシロウリガイ

大地

岩石と地形  
生活を語る土器  
道具の歴史  
まつりの世界  
相模国府を探る

村

農村の四季  
宿場の暮らし  
地域の絆  
失われるもの

都市

地震と平塚の地盤  
都市と生物  
昭和の暮らし

## 新しい情報コーナー

開館以来、代わり映えがしなかった情報コーナーが生まれ変わり、コンピューターによって、地域の自然や文化についての情報が取り出せるようになります。「相模川事典」「平塚の石仏」「湘南植物誌」など、今まで館で刊行してきた資料をもとにして、長年にわたっ

て蓄積されてきた情報がビジュアルな形で紹介されます。じっくり利用すると、知りたいこと、調べたいことのある人には大きな助けになるでしょう。博物館で行っている行事や、今までの歩みについても、取り上げる予定です。

## 耐震対策が行われます

博物館の展示室には様々な資料が展示されていますが、大きな地震にあった場合には、貴重な資料が壊れてしまったり、来館者の怪我の原因となる心配があります。そのことを如実に教えてくれたのは阪神大震災で、その時に被害にあった兵庫県美術館・博物館では展示室の復元に多くの時間と労力、そして予算が必要でした。大きな地震の可能性が指摘されている平塚でも地震に備えた準備は欠かせないもので、展示ケースなどは前回の展示替えから地震を想定した強度で制作を行っています。

また、今回は特に1階の「相模の家」に展示してある復元民家について耐震工事を行うことになりました。土壁を壊して筋交いを入れて補強するなど大がかりな改修で、一般の人家と同じような対策がとられる予定です。それによって、万一、民家内で展示を見学している時に地震が起きても、柱や梁がくずれ落ちるような心配がなくなります。

## 展示替えのための休館

1998年2月2日～4月30日

新装オープン 5月1日

# 博物館カレンダー

## 1月の行事予定

8	木	石仏を調べる会	(野外)
9	金	◎特別展関連行事 星を見る会	(屋上)
10	土	◎漂着物を拾う会 古文書講読会 地質調査会 平塚の空襲と戦災を記録する会	(館内) (館内)
11	日	民俗探訪会	(旭)
17	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	
18	日	相模川の生い立ちを探る会	(辺室山)
21	水	裏打ちの会	
22	木	石仏を調べる会	
23	金	◎特別展関連行事 星を見る会	(屋上)
24	土	古文書講読会 地質調査会 ○自然観察会	(酒匂川)
25	日	○体験学習「星座早見を作ろう」 スターウォッチング 古代遺跡を探す会	(館内) (屋上)
28	水	地質調査会	(館内)

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

### ●特別展「平塚の星空写真展」

博物館で収集された星や星座、平塚で見られた天文現象などの写真を展示します。

会期：12月13日(土)～2月1日(日)  
場所：博物館特別展示室

### ●特別展関連行事

#### 「星を見る会」

期日：1月9日(金)、23日(金) 19時～20時30分  
場所：博物館 参加自由

### ●体験学習

#### 「星座早見を作ろう」

星座早見を作って使い方の実習をします。  
期日：1月25日(日) 16時～18時30分  
場所：博物館  
申込：1月10日までに往復ハガキで。定員20名。

## 2月の行事予定

1	日	地質調査会 民俗探訪会	(野外) (下吉沢)
12	木	石仏を調べる会	(館内)
14	土	○こども観察会	(花水川)
15	日	相模川の生い立ちを探る会 古代遺跡を探す会	(広沢寺)
21	土	天体観察会「カノーブス」	(海岸)
26	木	石仏を調べる会	

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

### ■休館のお知らせ

二階展示室の展示替えに伴い、休館します。  
期間：2月2日(月)～4月30日(木)

### ●寄贈品コーナー

「寄贈された植物写真と文献」

会期：1月6日(火)～2月1日(日)

### ●自然観察会

#### 「カモを見よう」

水辺のカモやサギの仲間の観察をします。  
期日：1月24日(土)  
時間：午後1時～4時  
場所：酒匂川  
申込：1月15日までに往復ハガキで。

### ●こども観察会

#### 「水鳥の観察」

期日：2月14日(土)  
時間：午後1時～4時  
場所：花水川  
申込：2月5日までに往復ハガキで。  
(小中学生およびその保護者に限る)  
申込多数の場合は抽選とします。

**あなたと博物館**

22巻 10号 通巻251号 発行 平塚市博物館 3000  
〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463-33-5111 FAX:0463-31-3949